

焼津市 耐水化計画

焼津市 下水道課
策定 令和 3 年 10 月

① 基本方針

対象外力及び対策施設の考え方は以下のとおり

○汐入下水処理場の及び新屋下水ポンプ場の対象外力は、2 級河川瀬戸川における想定最大規模 L 1（1/100）とする。

・ハード対策（耐水化）において目標とする浸水深（以下、対策浸水深という。）は、施設の供用期間等を踏まえ、中高頻度の確率（1/30～1/80 程度）で発生する河川氾濫等を想定して設定することを基本とするが、令和元年の東日本台風では想定最大規模（1/100）相当の豪雨により市内で浸水被害が発生している。下水道施設においてはこれまでに氾濫・浸水実績はないが、近年では全国で同規模の豪雨が頻発しており、今後同規模の被害が発生する可能性が十分考えられる。

・津波・高潮は、10 年程度で堤防等の整備予定があるため、整備後の対策浸水深として検証し、上記 2 級河川瀬戸川対象外力より小さな浸水深であった。

・内水に対しては、現在浸水実績はないが、今後検討予定の雨水管理計画における想定浸水深（照査降雨 L1'）が設定された段階で、対策浸水深を検証する対応とする。

○その他、岡当目及び浜当目マンホールポンプについても、上記施設と同様に対象外力を検証したところ、2 級河川瀬戸川が最大の対策浸水深となった。

②対象施設及び対策浸水深

対象施設名称	施設能力（現有）	影響人口	対象外力	対象確率	対策浸水深
汐入下水処理場	20,000m ³ /日	26,000人	2 級河川瀬戸川	100 年確立	T P +3.02 GL+0.38
新屋下水ポンプ場	16.7m ³ /分	13,000人	2 級河川瀬戸川	100 年確立	T P +3.11 GL+0.54
岡当目マンホールポンプ	1.8m ³ /分		2 級河川瀬戸川	100 年確立	T P +8.33 GL+5.00
浜当目マンホールポンプ	0.8m ³ /分		2 級河川瀬戸川	100 年確立	T P +7.41 GL+5.00

※マンホールポンプは BCP で対応

③確保すべき機能（短期：5 年間）

施設名称	確保すべき機能	対象施設と関連する主要設備機器	備考
汐入下水処理場	揚水機能	沈砂池ポンプ棟：ポンプ、電動機、現場操作盤、除塵設備、ブロワー棟：受変電設備、自家発電設備、管理汚泥棟：現場操作盤、監視制御設備、汚泥処理設備、水処理棟：管廊：各施設への浸水防除	消毒機能は応急対応によって機能確保
新屋下水ポンプ場	揚水機能	現場操作盤、ポンプ、電動機、除塵設備、受変電設備、自家発電設備	

確保すべき機能（中期：5～10 年間）

施設名称	確保すべき機能	対象施設と関連する主要設備機器	備考
汐入下水処理場	沈殿機能	水処理棟：ポンプ、電動機、現場操作盤	

④実施計画（短期：5 年間）

施設名称	耐水化対象施設	事業内容	備考
汐入下水処理場	沈砂池ポンプ棟	流入管マンホール蓋の耐水化	
	管理汚泥棟	出入口に止水板、土嚢設置	
新屋下水ポンプ場		流入管マンホールの耐水化	

実施計画（中期：5～10 年間）

施設名称	耐水化対象施設	事業内容	備考
汐入下水処理場	水処理棟	電気ケーブルハンドホール蓋の耐水化	